

ADULT
ONLY
R18



忍魔
孕私堕切
～總集編～





忍魔対
方堕不
集編
～總集編～

これで三菱重工から
ヨミハラへの兵器供給も
容易になるな

役員には適当に
女と薬を
回しておけ

へい

あの運び屋は
どうしやす?

いつもどおり
バラしとけ
死体は食っていい

清々しい
黒幕っぷりね
矢崎幹事長さん

っ?!

やっと尻尾を
掴んだわ

み：水たまりが
喋って

五車学園まで
エスコート
してもらえる
かしら?







妖
艶

舞
踏



クク...



あああ...

お友達もいなくな
ったみたいだし
デートの続きしましょ



あああ
アナタは…

監視の為に
オークに潜んでいたら
思わぬ掘り出し物だな

なっ…

余の体に傷を
つけるとは
良い技だ…

え？そんな
この術を受けて
五体を保てるわけは…



ふっ…

残念だけど
アンタたちの
大事なボスは…

着ぐるみが
趣味なのね



誤算！！
矢崎に人質の
価値は…

は、速っ



この男が

本当の……



気に入ったぞ
対魔忍

くく……
とっさに
護るとは

が、ああ……
淫ま……お……さ

ぐっ……

強い……



この男のこと……
伝えないと

アサギ……
……ニキカゼ……



不知火

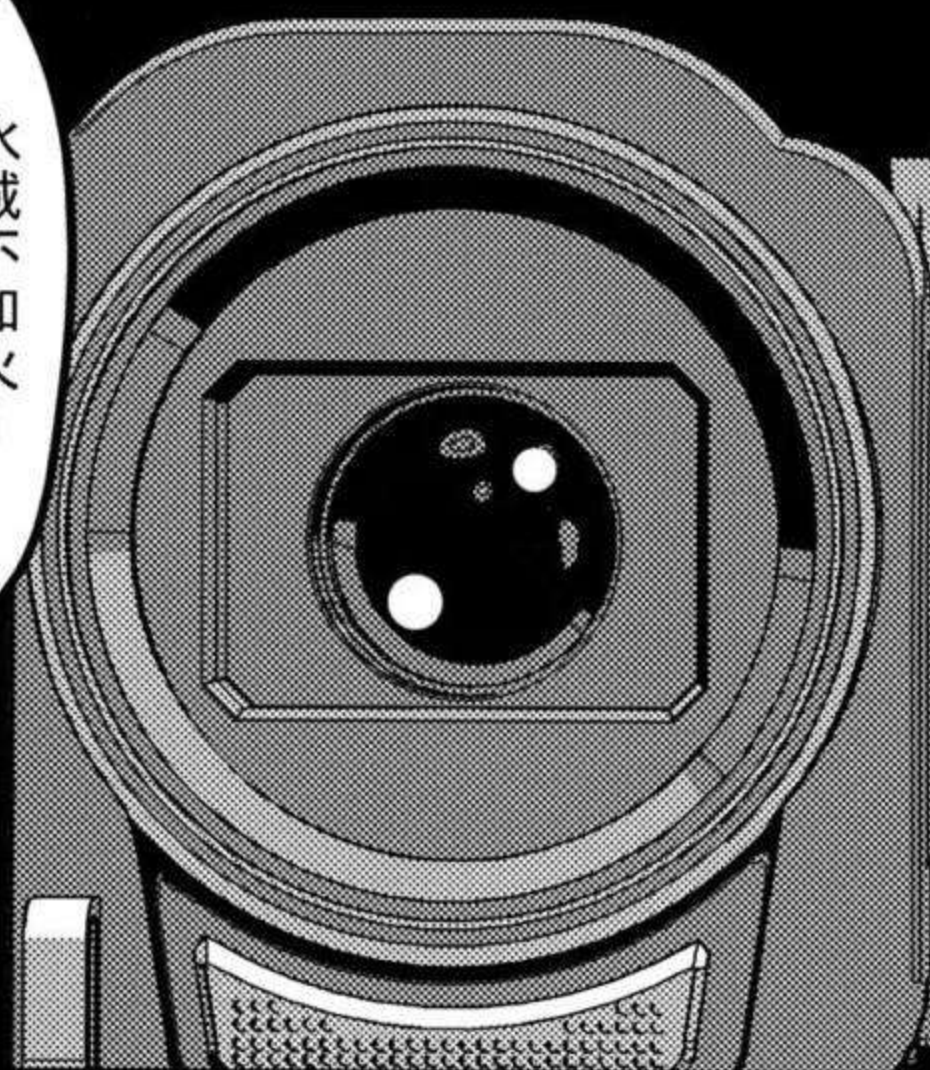
孕み
堕ち



なに…撮ってるの
この変態！

水城不知火…
あの井河アサギに
比肩する
伝説の対魔忍

…フンよく
調べたわね…



●REC

…
そなたを…
抱く

っ
?!

どうするの？私を
バラバラにする画でも
記録する気？
悪趣味な親玉ね



光栄に思うのだら
淫魔の王たる余と
交われるのだから

ふざけないで
誰がアンタ
なんか

なんて！
禍々しい

ここまで
男の匂いが！

殺してやる！

ハッ裂きに
してやるわ

興奮して
いるようだな

その気高さ
いつまで
保てるかな

バカに
しないで

キーン





いい乳房だ
魔の母としての
素養は十分だな

魔の母：
ですって



そうだ

ふざけるな
悪魔の分際で！

離れなさい！
その粗チンを
切り刻んでやる！

強き雌よ
そなたは余の子を
生むのだ

雌臭を
放ちながら
よく吠える



始めるぞ…

くっ



ククっ
いい母乳を
出しそうだな







万が一囚われても
慰み者になっても
陵辱から護る鎧

敵に快樂すら
与えない

女の最も
大事な場所を
穢す…

アンタみたいな
クズ相手に
ピッタリの術よ

あははっ

淫魔王の
名が聞いて
呆れるわね

捕虜相手に
避妊だなんて

ククク…

な、何が
おかしいの



すすこい圧！
鎧が押されて
腔壁に……ああっ



か、快楽が……

術に集中
しないと……



どこまでも
楽しませてくれる！





が精子温度
伝わる
嘘でしょ

おっ
や
あ
ん

お
っ
や
あ
ん



犯されながら
余と戦うとは

有難き事
見事なり
水城不知火



絶対に
孕まされて

三重じゃ
なかつたら



今宵は
そなたの
勝ちか



映像が
届いたぞ

この映像は
録画よ…

私は対魔忍
水城…
不知火…

不知火！

お母さん！

アサギ…
ゆきかぜ…
元気に
してるかしら

矢崎宗一
拉致作戦は失敗

ターゲットは
淫魔の王と名乗る男の
手によって殺害

私も戦闘に破れ
今、おそろく

地下都市ヨミハラの
どこかの屋敷に
捉えられて…

は、辱めを毎日
受けている…わ

なっ…！

9134

すけ
だ、だけど
安心して...

私が対拷問用の術を
心得てるのは
知ってるわね

対魔忍は決して
仲間を裏切らない

必ずこの男を
殺して脱出するから
待ってて...





ユキカゼ：
お母さん
もうすぐ帰るから

しっかりアサギ先生の
指導を受けて
立派な対魔に

ここを勃起させて
いつまで平静を
保ってるんだ



ちよっ…
やめて

対魔忍の長よ
お前の右腕は
余の手にある

この女が快樂に
染まる姿を度々
送るので楽しみに
しておけ

く…耐えろ…
耐えるのよ



甘い声を
あげおって

自慢の鎧から
締め付けも熱も
感じるぞ不知火

もう術の体を
なしていまい

う…あ…
は…

そろそろ余の熱を
直に味わって
みたくなったの
ではないか？

た…短小の
くせに
うるさいわね



え？



だめ術破
られ生
すごつ硬



では子袋の方に
聞くとするか



違う！違う！

自ら快樂に堕ちたわけ
ではないという
言い訳がほしかったか？



あ、あの…

術を破って
ほしかったのか

ち、ちが…



このまま
犯しても
つまらん

お前が心の底から
余に見たい
姿が見たい

や、やめて！
まだ術に力が…



な...生...

淫魔王の...

安心しろ
こっちの穴だ！

そなたの臓腑の味
たっぷり味わせて
もらうぞ

ん

あ

ぐ

ぐ







はあ：不覚にも
少し取り乱した

どうだ？
王の精子を
子宮に欲しく
なったか？

幻想の水よ…
踊れ





淫魔王を
倒した！

や、やったわ



幻想の水よ
踊れ！

最後に
一発出して
よかったわね



ざまあ
見なさい！

対魔忍を
舐めるからよ！



そんなひと目
み、見ただけで

幻影陣！
だったか

え？
どうして



やはり
アナルに注いだ
ザーメンで
絶頂してたか

これから
毎日中出しは
ケツ穴だ



お、お尻イイ!

まだ
び、敏感で



許して
下さ...あああ

子宮がアナルに
嫉妬するまで
たっぷり出してやる

も、もう許して
あひっ



さあ再び
強き雄の味を
脳に刻むがいい!



どうすれば……

ダメ！勝てない
強すぎる……

どうすれば……

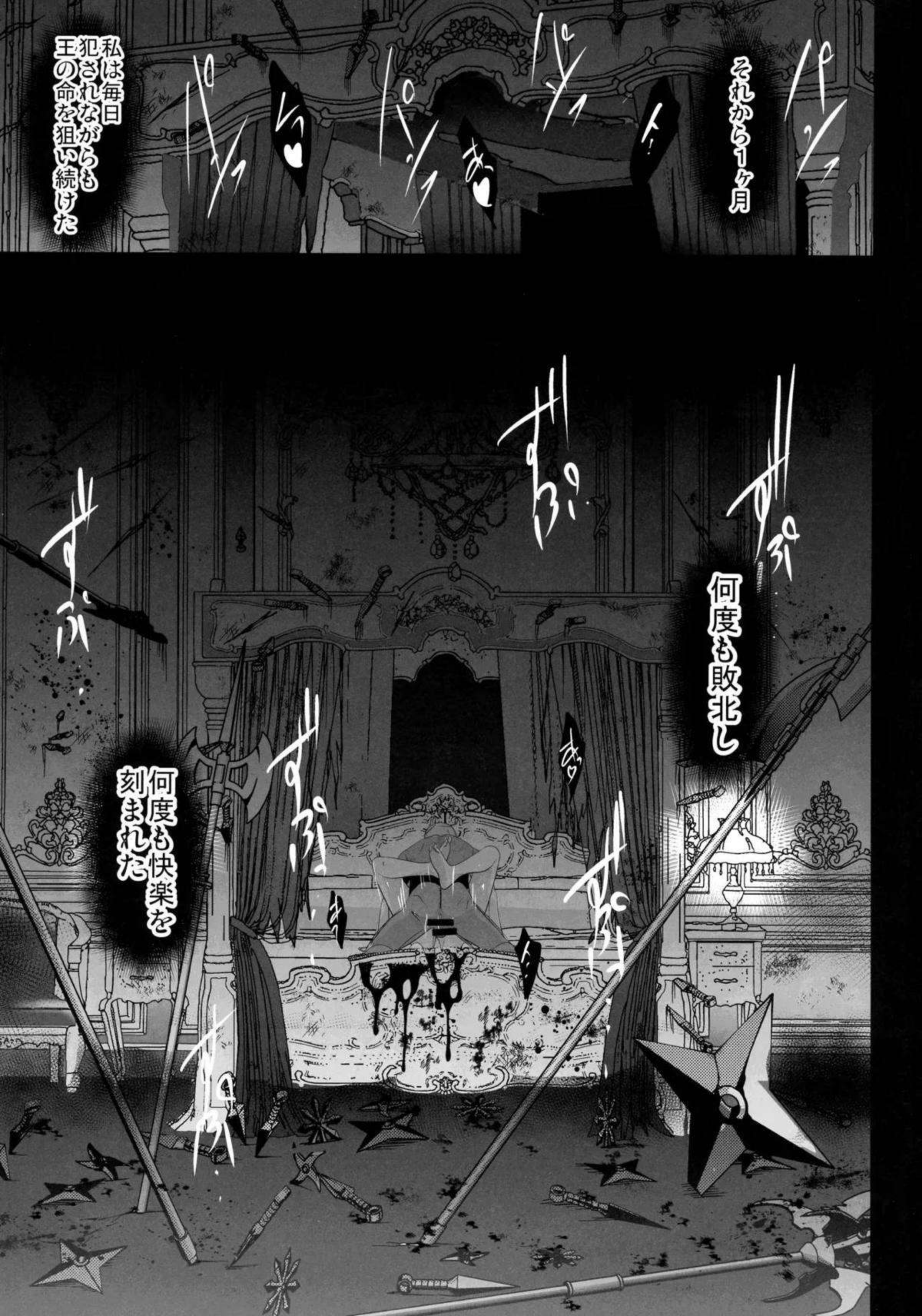
どうすれば……

それから1ヶ月

私は毎日
犯されながらも
王の命を狙い続けた

何度も敗北し

何度も快楽を
刻まれた





対魔忍の誇りを
護るための恥辱にも
耐え続けた

花嫁の衣を纏い
魔王の眼前に
立っている

女がその姿を
していることの
意味が分かって
いるのか不知火

だが今
私は今

あ、あなたが
着ろっていうから...



よしもういい
入れるぞ

ま、待って鎧が

ククク
なんとか術も
間に合ったか

ああっ

あ、アナタの手で
破れば……
いいでしょ

尻に刻まれたか
余の粘膜の味か
欲しくないのか

いつでも
できるくせに……

もう鎧というより
薄い被膜だな

ダメだ
そなたの手で
契るのだ

思いだせ
余の生の味を

王の生チンポ

お尻にいつぱい
してもらった

いっばいザーメン
中出ししてくれた

気持ちよすぎて
何度も気絶した

生...

生...

生...

生...

欲しい

：墮ちる気はないか

さすが余が認めた強き女

欲しい

中出し

生ちゃんぽ

欲しい

ドロドロのザーメン

誇りを護り
そのまま果てれば
速やかに殺してやる

欲しい

淫魔王様の

生...

イくぞ
不知火！



乱れ狂おうぞ
水城不知火

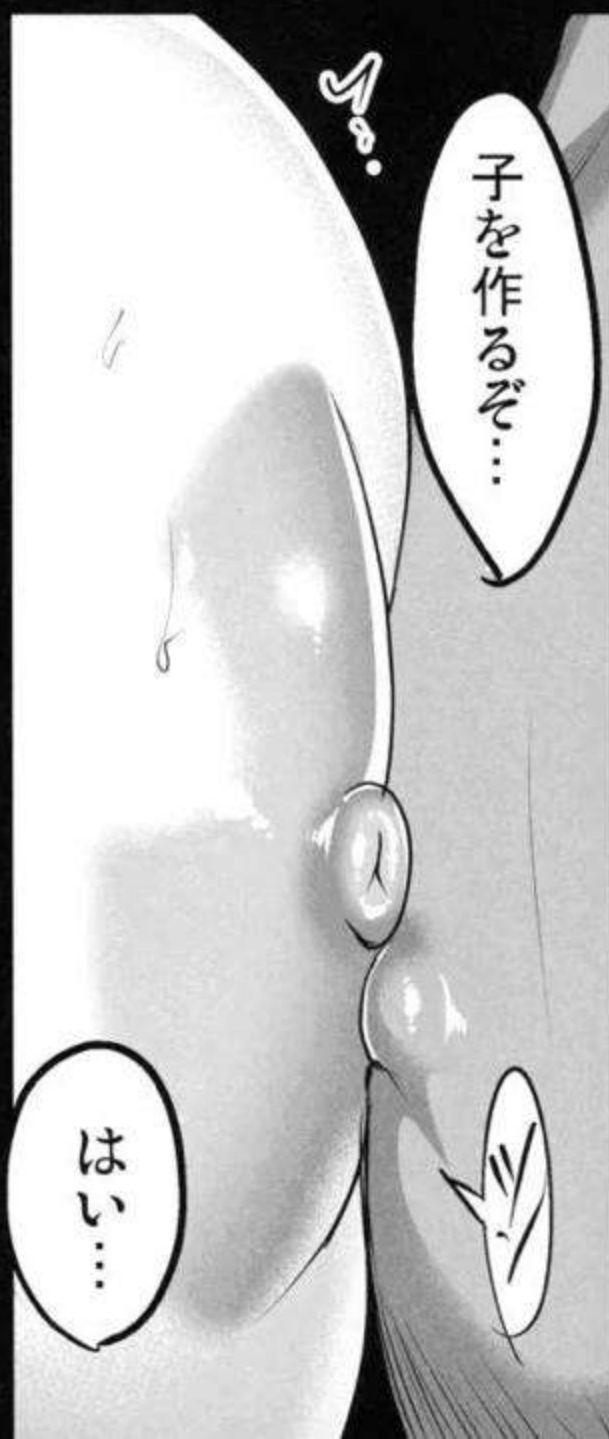
はい♡
淫魔王しやまあ

ああ♡淫魔王様
好き♡好き♡♡

生セックス！
すごい！

愛して！
いっぱい愛して！

クククッ余のモノに
絡みつく素晴らしい
名器よ





舌は蕩ける
目もツチャツ

赤ちゃん
...欲しい

淫魔王様...
もう我慢
できません

いい肉だ...

あぁ... 子種が...
はち切れそう

全部私の中に
注いで下さい

余の嫡子を
授ける崇高な儀だ
互いに清めあうぞ

はい…

$$\frac{70}{3}$$

ああ、さっきより
大きくて
固い…

こんなすごいのに
ん：孕まされ
るのね

あ……
想像しただけ
いきそ……

え？そんな
淫魔王様…
舌…

ククク
美味よ…

おん
いし

は
む

てん

耐

不

志

太.太.



すごい子宮の中
直接舐められ
てる...気持ちいい...

王子が宿る部屋だ
王直々に準備して
やらねばな

はあ...早く
この人のもので
して欲しい



淫魔王様の
女に...

淫魔王様の...

淫魔王様の...



よしもう十分だろう
器は磨かれた

種を授けるぞ
不知火

は、はひい...
こちらも...
んぷ...準備
れきましたあ♡

淫魔王様……

お願いします……
……

この世で
一番強い男の

遅しい
おチンポを……
ズボズボして……

赤ちゃんの素を
ドクドク
流し込んで

48

……





ゆきかぜ...

アサギ...

私...

ごめんなさい...



気高いそなたが
堕ちた姿は
実に美しい...

あっ...
じい焦らさ
ないで



もう待ちきれ
ません!
ああっ♡

っっっ
っっっ
っっっ



はあああ
嬉しい!
淫魔王様が
中に!

...いいぞ...
さつきより
肉が蕩ける

淫魔王様あ
生！きたあ♡

悪魔の女に…

はひっ！ 子宮まで
届いてる！
あぁっすぞいっ！
んばっ♡きじゅっ



おひんぽ熱い！
あひむぎい♡はふう
愛びでりゅんちゅう♡

なつちやつた…



こんな男に強くて偉大な男に戦いを挑むなんて

はあ...もっと愛してえ

イクっ!
またイツちやう!

あああ♡♡♡
気持ちいい♡
淫魔王様が
快楽を下さる...

ああ遅しい♡
強い人好き!!

最高の雌肉だ
不知火

ああ♡♡ありがとう
ございませう!





カチカチちんぽ！
すっごいの
お

淫魔王様
経産婦マンコの具合は
いかがですか？

美味だ

嬉しいーもっ
とパンパンしてえ！

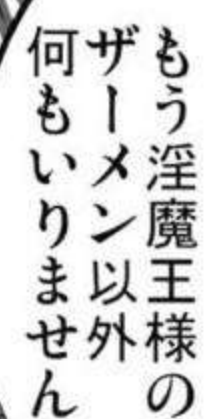
んふうキス上手う
大好きい♡



淫魔王様あ
私ばかり
ズルいです

いっしょに
おちんぽ
出して！

くくく
いいぞ不知火
淫らで美しい



早く……不知火が
アサタの女に
なった……証を
ください……



えっ?
な、何これ!?

余の正当なる
子を作るのだ
魔の母たる器を
作らねばならぬ

はい...

淫魔に
堕ちるのだ
対魔忍よ

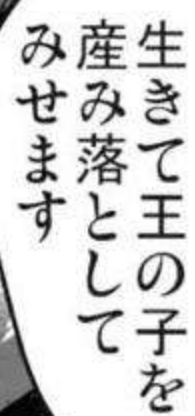


じゅっ...

今からそなたに
黒き精子を13日間
一度も休まず
射精し続ける

安心しろ余が
魔力を補給する
飢えることはない

ただし眠ることも
許さず快樂が
駆け巡る



12時間後

ああっはあ
淫魔王様！イクッ
イクのとまらないです！

はひっ！すごいっ！
ふうっ

クククまだ半日だぞ
あと300時間
それが続くのだ

うそ…まだ半に…
あああっイクっイクウ！

淫魔王様 あキスう

ああ気持ちいい…
おまんこ
満たされてます

3日後

はあああ！
もうらめ！チンポが
ザーメンが
脳みそ犯してる！
はあ！ああ！

失禁か…次期王の
母親になるのだぞ

ああお許しを
でも気持ちよすぎて
あああっ

すごいです…
ずっと射精…
なんて

あひっ
ドクドクしてる
淫魔王様…
好き…

もっと中出し

1
週間後

トッソ
...

トッソ
...

トッソ
...



トッソ
...

トッソ
...

トッソ
...

トッソ
...

10日後

不知火…
おい不知火…
事切れたか…

まあここまで
耐えたものはおらん
また新たな器を

淫魔…お…様

大丈夫です
続けて…ああっ

…この状態で
余に快楽を
与えようとするとは

ああっ
何か感じます…
黒くて冷たくて
淫らな力が

私とアナタの
赤ちゃんの部屋から…

あと少しだ
耐えろ不知火

13日後

はああ！ああ！
何！これ！

…魔に染まり
きつたな
元対魔忍不知火よ

余が求めし器は
ここになった

悪魔の母の
体になった
母乳が出ておる



9031



kin







よっと

こちら対魔忍
水城不知火

アサギ、ユキカゼ
聞こえるかしら？



残党狩りをしないと
ダメだからすぐには
帰られないけど

早く帰ってきてよ
お母さん



やった！

淫魔王は
私が倒したわ



お母さん！

不知火！
無事だったんだな

みんな心配
かけたわね



な、何今の
変な声

どこかでサキュバスが
交わってるみたいね

うわー
品のない声





アサギ、ヨミハラを
陥落させるから何人か
対魔忍をよこして

日時は●日
場所は…

絶対クソビッチ
変態女だよ
お母さん
やっっちゃって

不知火殿
お気をつけて

それじゃあ
そろそろ映像を
切るわね



淫魔王様：
ご命令通り
対魔忍を
呼び寄せました…

ご苦労
少し苗床が
不足して
いたのでな

嫉妬するな
犯すのはオークだ

し、嫉妬なんて
ひや、いいい♡
おひつ、これちゃう！

はい

ひゃん!
淫魔王様あ♡
もっとおちんぽ
ください!

誇りを捨て

仲間も娘を
裏切り

仇敵の
子を孕み

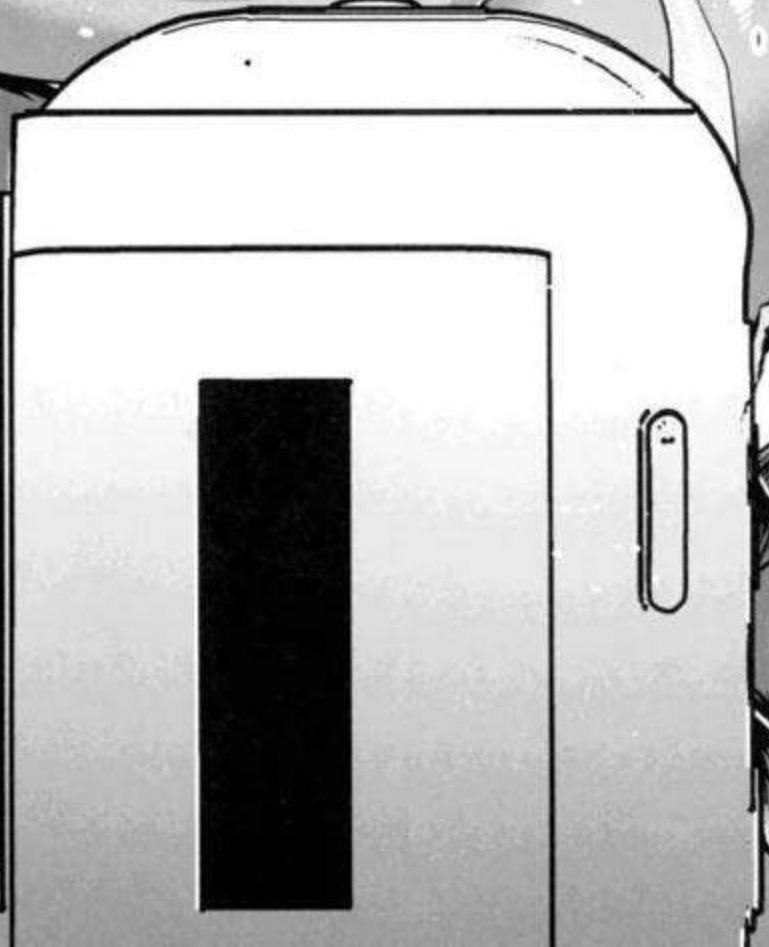
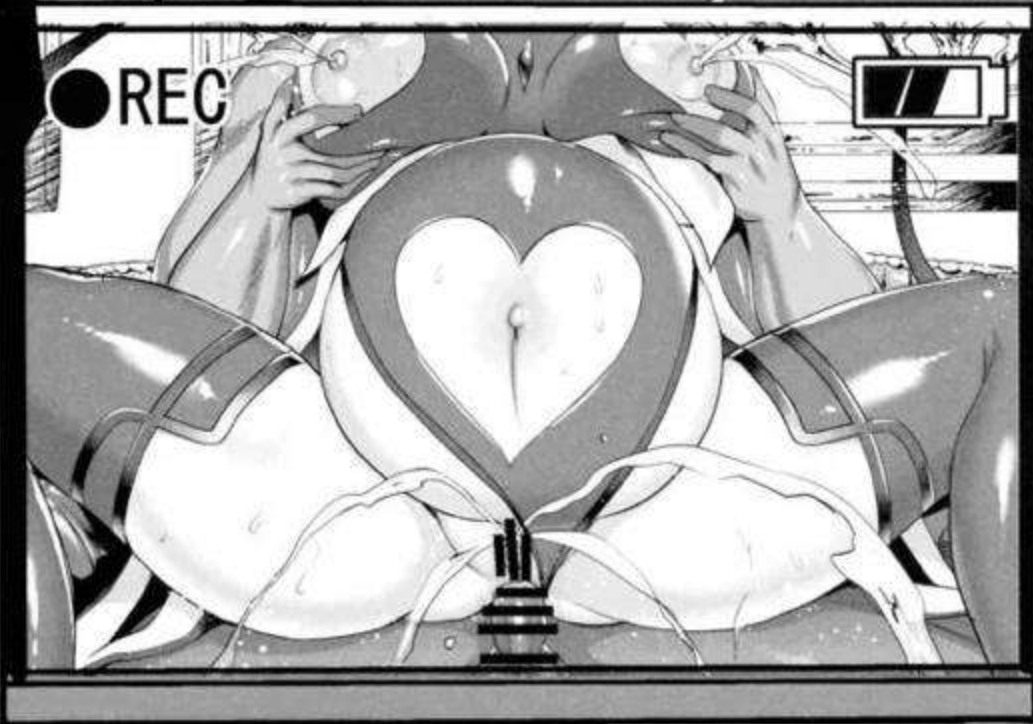
ああいいっ
好きっ!! イクっ
イッちゃうやう

尻穴の快樂で
失禁し

まだ求めるか!

ういあめめ

そなたこそ
淫魔の母に
相応しい





あ……ああ
いんまお……さ
なに……か……

感じるぞ……
余と不知火の力を
持った魔の胎動を

クク……これは
余を凌ぐ……
淫魔王となる
やもしれん





不知火
孕
陸
ち

ん…ママ…

ふふ坊や
美味しい…？

うんママ…の
おっぱい…
おいしい…

王子よ
母の魔力の
こもった乳を
もっと吸うのだ

はい父上
…あっ



ママ…
そこ…ああっ
気持ちいいよ…

はあ

1年足らずで
この成長
さすが我ら
淫魔の子よ

こっちは
もう父上に
負けな
いわね
あっ♡

はあ

ママ…
ママ…

さて不知火…

はい…

王子の
教育の時間だ





ま、ママが
僕のおちんちん
ああつ

んぷっおいし!
淫魔王様と同じ
エツチな味がする

くぽ、

ズッ

さすが余の嫡子
1歳でもう女を
孕ませられるな

息子よこっちに
来るのだ...

ズッ



ああっ♡
淫魔王様!!
ちんぽいいっ

ああっ
ま、ママ...
父上

不知火よ
息子のモクは
どうだ?

ん

はい!
すぐく大きくて
遅いんです

ああっ♡そっ
まんこ好き!
もっとして!

あつあつ
今日はあつ
息子の重貞ちゃんぽを
私がああ

どうだ
母の中は？

あつああ…ママ…
あつたかい！

し、子宮に届いて
だめ…生は…

はあつすごい！
もう女を
悦ばせる力を
ああつ♡

…ち、父上
何か…来ます

いいぞ出すのだ
淫魔の王子として
実の母を受精させよ

え？ええ？
そ、それだけは

ママ！

だ、ダメ！
す、水遁！
水泡の…！！



はあはあ
あ、危なかった…
悪戯が過ぎます

ふふ、実の息子に
犯され随分
よがっていたな

もう…私の体は
アナタだけの
ものです



ねえ淫魔王様…
王子には眠りの術を
かけました

しばらく誰にも
邪魔されません

あ、アレを
やってください
ずっと出す…の…

二人目…
欲しいです

アナタの精子で
孕みたい…です

ククク

ずっ…

ずっ…



息子の男汁は
受けたくないのか？
不知火

フフフ…あの子が
種漬けする器には
もつと相應しい
雌が…います

雌の名は…

対魔忍!!!
水城ゆきかぜ!!!!





不知火

孕み堕ち

衆





淫魔王様…



久々の人間界の
海はどうだ
不知火



そう言うな
余も時には静寂に
身を預けたい

王を脅かす賊など
私が始末しますわ



子供たちも
城に残して
久しぶりの
二人きりですね

...



ねえ
淫魔王様...



もうこんなに...

うふふ...



ふふ、魔界から遠く離れ
このような美しい場所に
お招きいただき
ありがとうございます

余の命を
狙う虫は多い

まあ...

暇を優雅に
過ごすのも
一苦労だ



ああ…王の…
この世で
一番強い男の物
すごい雄の匂い…

私を二度も
孕ませた
はあ…愛しい…
堪らない



私の雌が…
疼きます

…このカリ…
何度も膣を
かき回された



んっおっき…







はあ…
熱い…

これが
王…



もう男汁
滴らせてます…

もったいな…
んっ…美味し…

おれ様…



ああ…
出そうなのね

私も貴方様の
ご威光のまえに
口だけで
何度も達し…はあっ

あっ熱いのが
上って…んっ!









淫魔王様を
快樂の海に
溺れさせて
みせます









くああっ
あんっ!

気持ちいいっ!
気持ちいいっ!

はひいっ!
はひいっ!



ああっ
...3人同時なんて...
はあっ



どうした貴様も
感じているのか?

ズン
ズン
ズン

くくっこちらの
具合もそのままだな

ええ…
自律行動可能な
分身ですが…
くっあんっ！

管理するために
司令塔である
私と…感覚は全て
同期しています

全て4倍…です
…ご安心ください
主よ…

痛みも…
…快楽も…

その何倍もの
快感を

味あわせて
差し上げます



かああ！
また大きく！

ひい！舌が
赤ちやん部屋に！

ああ…
これが王の力

嬉しい…
素敵です…

もっと…もっと
私も攻めないと





ああっいっ!
ひああん!

ああっはあっ
おおっくああっ

やん!お尻!
ほひい!

いっ
はっ

いっ
はっ

も
みっ

も
みっ

まだま本番は
これからです

我らの肉で
王をご満足
させてみせます

あっあああ！
淫魔王様あ

やん次は
私です

くくっ
分身同士で
余を争うな

だってえ
おちんぽ
欲しいのお

均等にそなたらを
食らい付くしてくれる









ふ…



余を失望
させた
罪は重いぞ



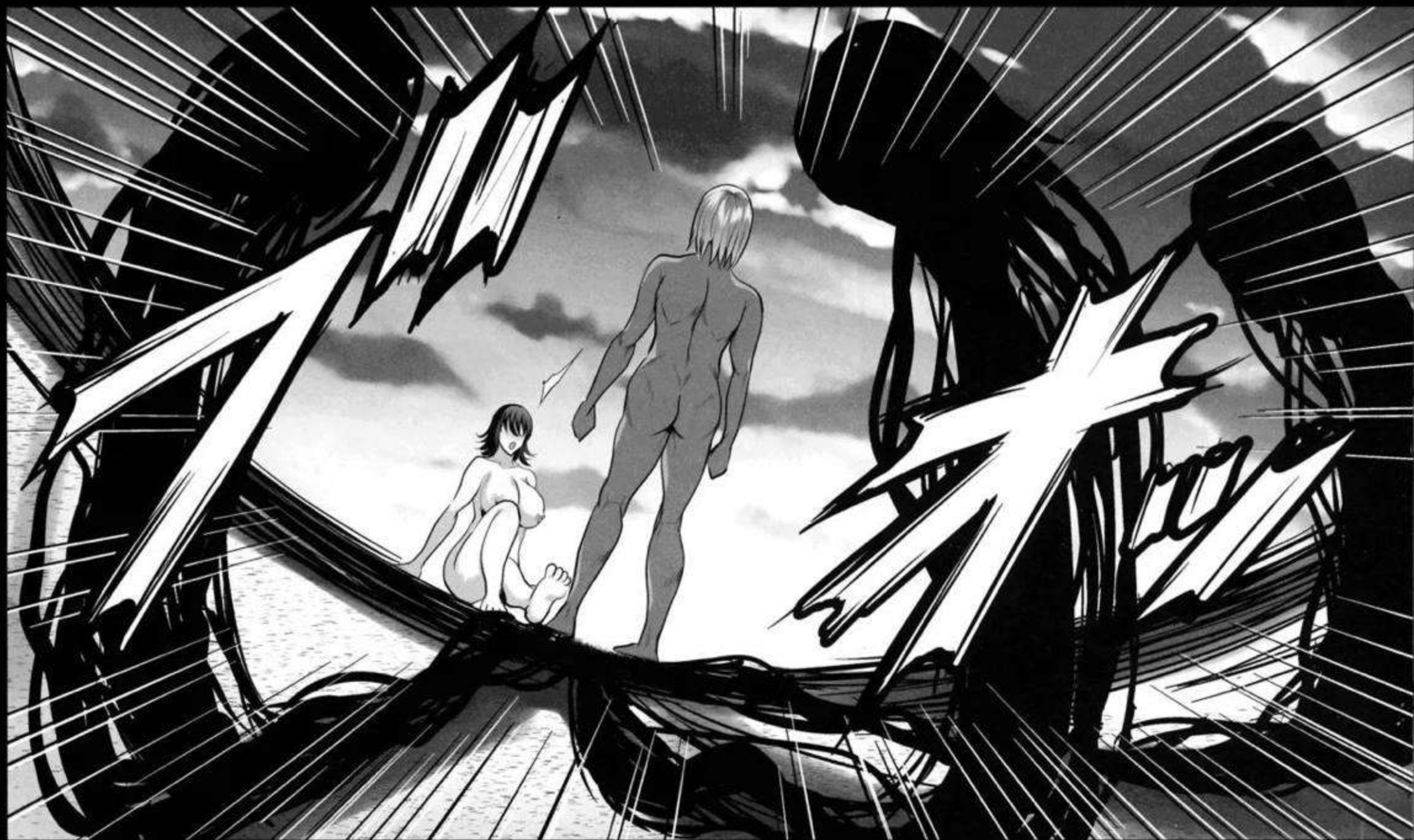
余を猛らせるには
能わずだったな

残念ながら
そなたは
淫魔の母としては
不適格だ



もう終わりか

あ…ああ…



何を
驚いている…

まさか分身が
忍だけの技とか
思っていたのか



今度は我らが
お前一人を
相手しよう

ああ
いや...



そ、そんな
4人がかりでも
敵わないのに...んぷっ
んごおおお!

さあ
弱きものに罰を
与えてやるぞ

ぐわ

ぐわ



淫魔王との
最後の夜だ

魔界に戻った後は
オーク、ゴブリン
：好きな下等生物
と戯れよ

いいや
淫魔王さま以外に
体を許すのは…

たっぷりと
肉棒を味わえ

そんな
最後なんて…

では肅清だな

ふっ王子らには
母は死んだとだけ
伝えてやる



構わんもろとも
たたっ斬れ！

隊長！情婦は
どうします！



対魔忍！

これほど
接近を許すとは
油断

影を
戻さねば！

無傷は
難しいか



覚悟！！

淫魔王！
取ったぞ！



す、水遁術最上位
妖艶舞と…？

馬鹿なこの術を
使える者は
この世でただ一人…

みず…
しゅ…





痴れ者が
淫魔王に
楯突こうなどと
身の程を知れ

フンッ
対魔忍風情が

お前たちの接近など
とうに気づいていた

王の威光の前に
退却を選択するなら
命だけは助けて
やっただものゝ

え…あ…
淫魔王さま…？

まさか余が
守られるとはな

いいえ
この程度の賊
王の手を汚すまでも
ない…ああ

嘗ての同胞を
余よりも疾く
虫けらの如く塵殺

ふふふ…
猛るぞ

やはり戦うそなたの
姿こそ美しい…

そ、そんな
もったいない
お言葉



ああっ
淫魔王さま！

肅清は
取り消しだ

余の眼に些かの
曇りがあった
ことは詫びよう

め、滅相も
ございませぬ
私、貴方の手で
死ねるなら本も…

…あひああっ

え？こゝこの
妖気…

くく…強き雌に
種を撒けと
疼きおるわ

た、種…
ああ…私…私…

認めねば
なるまい

そなたこそ
我に相応しい器

淫魔王の子を
孕み堕ちよ
水城不知火！

ああっ♡
黒い精子…来た！
子作り始まつた！
はひああああ♡



寵愛の儀は突如
始まった

王は黒い精子を
13日間射精し続け
私の子宮を
染め上げるのだ

幾兆の細胞
一つ一つに快楽を塗り
込められる感覚

気が狂うような
女の歓び……でも……

ね……
淫魔王……様

なんだ

あ、アナタって
呼んでいいですか？

ほう……

そ、その……
か、仮初でもいいので
子作りをする……ふ、夫婦
らしくしたいです……

余は今機嫌がいい
認許しよう

ああっ嬉しい！
アナタ！好き！

アナタあ♡
イクう♡♡♡

人間とは
面白きものよ
呼び方一つで
快楽が増すとは



アナタあすつごい
気持ちいい♡♡♡
おかしく
なっちゃう♡

ふっまだ
1日だぞ

はあイクッ
んふっんっ...

はあああ...
ドクドク言ってる

アナタのおちんぽと
まだ10日以上も
繋がるなんて...

常人ならとうに
発狂してるはず
快樂死するなよ
不知火

んもう...
死ねわけ
ないわ

アナタの
赤ちやんの
孕むの...





私もっと気持ち
よくなりたいの…

至高の快楽から
さらに求めるか…
だがどうやって…
まさか…

うふふ…
さすがねアナタ

ふ…正気か…
いや愚問
であったな

恐ろしい女よ
余を怯ませるとは
…良からう



そなたの狂気に
王として父として
相共にしよう

んちゅ♡
素敵いアナタ
それじゃ…
行くわよ





良いぞ不知火!
淫魔王を悦楽に
狂わせてみよ

あ……あぎ……
こお……

ふっ……淫魔の鼓動
感じるぞ

これは
余が及びもつかない
強き子が生まれる
やもしれぬな

王子たちもうかうか
してられまい



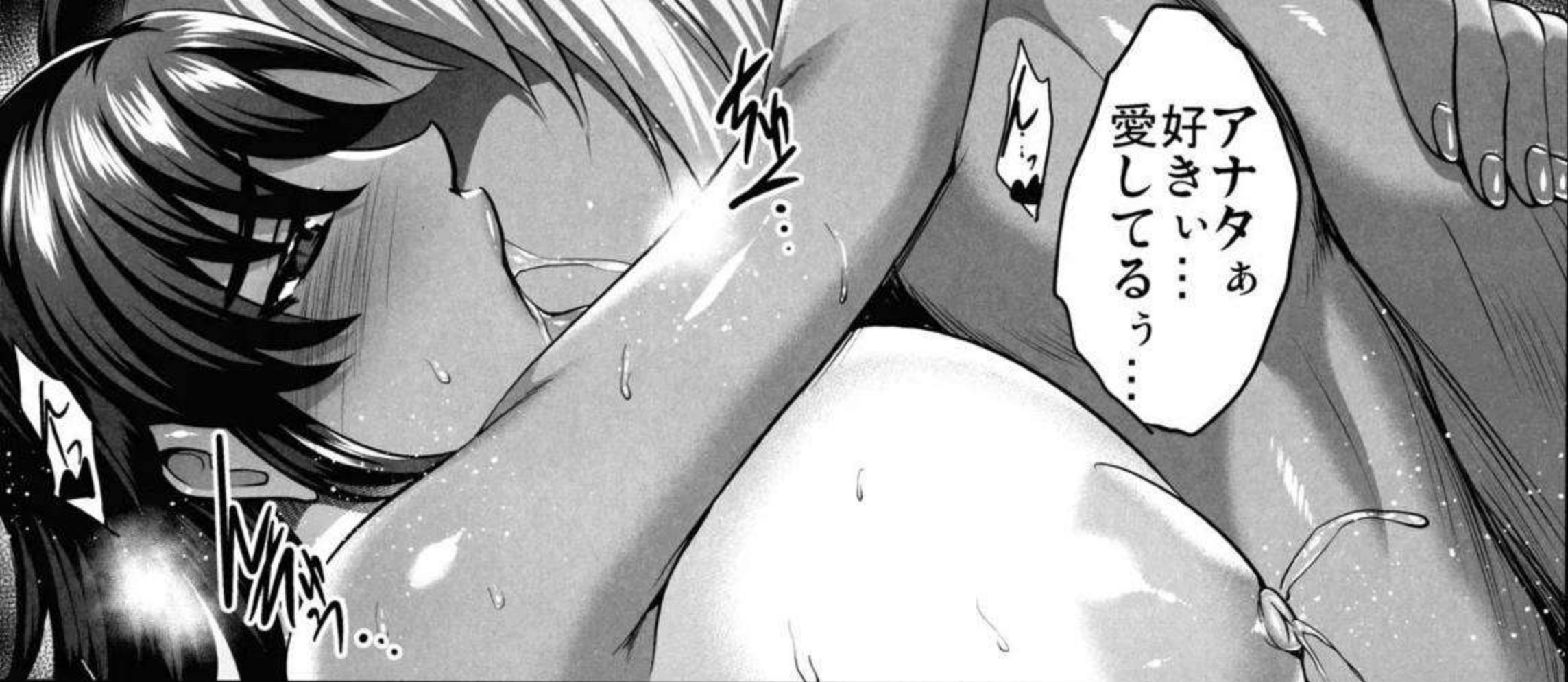
んお4倍チンポ
きてる! ほぎいっ

やん! あなたあ♡
深い!

すっごいおい
私の雌豚マコ
ちんぽでいっ
ぱいが

ね...もって...
もってして

最高の雌だ
不知火



あひあつすっごい
遅しい人好きいい！
とまらなっ！
あああん！

やん
あつうい！

いいっ！
いいのアナタ

不知火の
ドスケベマンコ
アナタのちんぽの
形にしてえ！

45

ズン





最後の刻だ
不知火よ…
息はあるか

くっ…んっ
はい…
大丈夫です

くっ…余も
味わったことの
ない愉悦の宴
良い興であった

あ、アナタあ
きてる…受精
したい…

この姿で
アナタの精を
受けたい…

装いも改めて
種を受ける拵えは
整ったか…

うふっ…♡
アナタのために
選んだ水着なのよ

この姿で
孕み…たい

この姿でラブラブ
ボテ腹セックス
したいの♡♡♡

一緒にイッ
アナタ…

ああっひあ
もう一人で
イクのは嫌



ああっアナタあ♡
赤ちゃん欲しい！
白いの頂戴！

黒いので
いっぱいになった
子宮にぶちまけて…

え…？
な、なに…

猛るぞ…
水城不知火…

そなたこそ
最高の肉…
最高の器だ…

アナ…
淫魔王…さま



あつそ、その
お姿は！

淫魔王の真の姿を
晒しここに
玉の種を授ける

ああ私などの
前に畏れ多い…
でも…嬉しいっ



ああ…なんと
禍々しく
美しい

この御方の力を
もった命が
私のお腹に…



淫靡なる苗床に
余の子を孕むのだ

はいっ！



愛しています…

淫魔王…あ…



不知火
孕み墮ちて



4



先発隊の精鋭が
連絡を絶ったのは
この辺りか

はい先輩
大きな瘴気を
2つ…あと小さな
瘴気を1つ感じます

油断するな
ゆきかぜ

分かってます

でも淫魔王の
情報をやっと
掴んだんです

併せて3つ…
敵は淫魔王だけ
ではないのか

きっと
お母さんにも
繋がるはず



瘴気が
濃くなった
近いぞ！

恐らく
分身している
こちらの接近に
気づいてる

戦闘準備をしろ！

はい！先輩！

見えてきた
あれが淫魔…

お…



イクッ!
妊婦姿で
イっちゃうー!

ああん!淫魔王様あ
ボテ腹セックス
気持ちいい!

やはあん!アナタあ
好きっ好き!
ミルクもおしっこも!
止まらない!

30
あああ



きゃひん!
ちんぽ膨らんで
ああ...そのお姿...
素敵!!

さあ深産の子を
産み落とすがいい

はいっ! ああっ
マンコに3本
突っ込まれながら
出産だなんて

生まれ! 赤ちゃん
うまれりゆう!



ひっクリーそこ
敏感っ! ああ!

快楽に狂いおって
淫魔王の妻として
矜持を持て

嬉し
出ちゃう
アナタあ♡

えっ? っ、きつ
私がああ
うれし! あひあ



でもアナタに
孕まされた
敏感じたくて...

4人同時に
愛してはしくて...
ひああッイクツ

妊娠マンコ
ぐぽぐぽ
してえ!

ああっすごい!
4倍! 快感が!
あああ♡



淫魔お! アナタあ
すっごいの!

くくくっ
赤ん坊も分身して
いるのか?

いえ...これは
姿だけです! 出産は
本体のみ! ああんっ!



見て
私達の
子供よ...

絶々しいぞ
我が子
素晴らしい

だが今は客人を
饗さないとな



生まれたな...

はあ...
アナタったら
激しいんだから



ふふ...久しぶりね
凜子ちゃん
そしてゆきかぜ...

わ、私ね
淫魔王様の女に
なっちゃったの



子供もこの子で
3人め、ゆきかぜ
アナタお姉ちゃんよ

凜子ちゃんも
大きくなって...あら
でもその様子だとまだ
男を知らないみたいね

あ、そういえば
対魔忍はみんな
私が殺したわ

ふ、夫婦の営みを
邪魔したんだもん
当然よね

ゆきかぜも
凜子ちゃんも
対魔忍なんか辞めて
淫魔王様に仕えなさい

…さすがそなたの娘
溢れる力…瑞々しい肉
い器になりそうだ

はい、隣の
秋山凜子ちゃんも
優秀な雌…強い子供を
産んでくれます

だが余に殺意を
向けておるのは
看過できぬ…

まあ困った子達
それでは私が
少し舐めますわ…

知



淫魔王様の
剣として…
妻として…

この雌たちが

孕み
堕ちるまで







はい...んぷっ!
ああ...んっ
あつ...いっ...あん!

こっちも
喰えろ不知火

はあう
こっちのアナタも
美味し...

三



あぁっアナタ！
激しっ赤ちゃん
びっくりしちゃう

ふっ肥沃な苗床に
強き魔は育つ
我が子よ余の精で
力を得るのだ

んはああ！
イクツイッちゃう！
ああああん！



4人同時中出し！
気持ちいいですっ

ひいっ！そんなまだ
たくさんチンポが！
欲しいっください！

ちようたあい
アナタあ♡

ああっ
淫魔王様！
熱いっ！

あなたあ…素敵
もつと激しくう

クククやはり
我らは常闇の世界で
交わるがそぐわしい

ああ…なんて
美しいお姿…
赤ちやんまた
欲しいです…

まだ産んだ
ばかりだ。急くな

まずはあの
強き雌たちを
孕ませねばな

なんだ実の娘に
姦淫してゐるのか

…はい…

いいえ…親子で
アナタの肉壺になれる
悦びに…あつあつ
夕メっ！イっちやう！

おやあ

おやあ

あーっ

あーっ…
そんな
ミルク…を

甘露なり…

じゅる

もうーエツチな
パパなんだから
あの子に飲ませる分が
なくなっちゃいます

…美しいぞ
不知火、これから
恒久に余の子を
孕み続けよ

はい…アナタ…

△
△
△





故障中

清掃中

ふふふ...

あぁっ! 達郎くんっ!

し、静流さん!

どう...? 3番目の女のオマンコは...?

さ、最高だよっ

あんっ♡

ぐわ

あぁ

あぁ



あーこんなに出してくれちゃって…

ヤッ

赤ちゃんできたらどうするのよ…

まったく何が静流さんも大事にする！よ

レディをトイレで放置はないでしょ

あーでも達郎くんがあんな事言ってくれるなんて

って浮かれてる場合じゃないわ

セックスもいいけど任務に戻らないと…

何の任務だ…

清掃中





木遁忍法！
ヴァインチエイン



無駄よ
オーガの力でも
千切れない
超張力なんだから



ふふ…エリート君
かつこ良く登場した割に
あっけないわね



答える気がないなら
その体に聞こうかしら？



アナタ魔の者ね…
ボスは誰かしら…

あら黙秘？
私は警察でも
弁護士でもないのよ



イケメンが台無しに
ならないうちに
話したほうがいいわよ

愚かな…



さっきから
誰に向かって
話しているのだ





これからお前の
主人となる男の
ものだもつと
丁寧にしやぶれ

ん...

ぐん

ぐん

ら、られが
わらひの主
人...

はあはあ...
でもこいつの
ものを啜えてると...



なにか...

ぐん

ぐん



出すぞ！

は...

ぐん

体が...

は

熱い...

は

ぐん



さっさと
殺しなさい
この早漏



飲み干すんだ女

はま

そうだいいぞ
全部飲め

では忠誠の証として
対魔忍について
洗いざらい
話してもらおうか



ふふ命を
粗末にする女は
嫌いじゃない

だがお前以外の命
についてはどうかな



た、達郎くん!

余の使い魔からの
映像だ

余の命令一つですぐに
こいつの首と胴体が
離れる手はずになっている

くっ!
ここの子は
ただの生徒よ
関係ないわ





貴様ごとき低俗な淫売に
余が直々に相手をして
やってるのだ
もっと悦ぶがいい

破

せ、正確に私の
感じるところを...

削って...

感じてるのか？
さっきまでの威勢は
どうした

だ、黙りなさい
この粗チン...

クククいいぞ
もっと強がる
がいい

抗え...ない...







対魔忍の誇りも
この男も命を賭してまで
守る価値のあるものか？

余の奴隷となれ
快楽に身を投じるのだ

ふん



？そっういえば
何か花の香が…



何を言ってるのだ？
こんな時に…



く、黒井君…
何かいい匂いしない？

花遁忍法

秘技!

飛
飛
曲
艶

散
華

こ、これは...

この花粉を浴びたら
性感が一万倍に
なるのよ

ふふふ
気持ちいい
でしょ?

この状態で
セックスなんて
普通なら死ぬほどの
快楽よエリート君

ふふ...
地獄に行く前に
天国に連れて
行ってあげるわ

アへ顔で
死になさい!



え？な、あつ
ここの感覚…
ど、どうして私…に
あああつ

カッ

バッ

つくづく
愚かな女よ



あ
余の部下に
埋め込まれた
隷属の印が
貴様の脳に巣くつて
おるのよ

部下…
あの時のラバー女

そなたに主人たる余を
攻撃することはできん

もし攻撃しようと
したら…

カッ



じ、自分に
攻撃する…

その通りだ…

しかしこの状況で
まだ余の命を
狙うとは

う、動かないで…

その強さ…
余の苗床になる
資格は十分だな

うー…



あゝ

お嬢様

お嬢様

お嬢様

くくくっ 最高だ女よ
膣がうねりながら
締め付けてくるぞ

お嬢様

あゝ

お嬢様

お嬢様

お嬢様

たっぷり中に
出してやる

りや、りやめ…
いい、まだされたら
わらひ…し、死ぬ…

イクぞ女！

お嬢様

お嬢様



ふふ…
息はあるか
余が認めた
だけはある…

あ、ああ…

これから
楽しみだなあ

ははひい…

あ…

ドンお…



黒井君?

く、黒井君
そ、そこはもう...

す、スイマセン
ご主人様
お、お尻じゃなくて
おまんこしてください

それでは
対魔忍の情報を
全て話すのだ

そ、それは...
それだけは...



もうこっちで
出してやらんぞ

い、いやあ...
意地悪う♡

こいつらのように
マンコに
チンポの出し入れを
したいか?

したいっ
したいです!





それでは
誓うのだ女

きやあんっ♡

余の奴隷となり
淑女となり
苗床となるのだ

あ♡
な、苗床…

そうだ…
お前は強い…
余の子を生むのだ

ご主人様の
子供…



断れば構わん
対魔忍として
誇り高く
殉死したこと
にしてやる

契約すれば
お前を清めるために
三日三晩寵愛の儀を
執り行う

その3日だけは…



余がお前を
第一の女として
愛してやろう

その男のような
偽りの愛ではない
本物の愛だ…

最後だ…
誓うか…?

ち…

誓います…

ご主人様…

契約成立だ
たっぷり
愛でてやるぞ静流

ひよひよんなずりゅい
いきなり名前でええ♡





高坂先生
休みだって

マジかよ
一日一回
あのおっぱい
拝みたいのに

どういうことだ達郎
予定にはないぞ…
あの女…まさか
敵に囚われたのでは…

うーん疲れて
休んでる
んじゃない？

何を悠長な
我らの情報
漏れるかも
しれんのだぞ



何をやりすぎたのだ！

わわわ…ち、ちが
ふ、二人で秘密の特訓を…



やっぱり昨日ちょっと
やり過ぎたかな…



そうかまあいい

…に…魔忍の
アジトが…あり…
衛忍の数は

大丈夫だよ
静流さんはあ、あ見えて
強いから

あんっ♡す…
水遁トランプ解除の
コードは…

ふん…どうだか

…秋山凜子と
秋山達郎は…
N20に研究所に…
あああ♡もっ♡と♡

あ、アサギの1階の
執務室はダメーです…
本物は曜日ごとで違い…

ご主人様あ
秘話しましたあ
早く中出しを

おちんぽミルク
オマンコに
どくどくしてえ

ひゃあ、そ、そこは
ごめんなさい
全部いいましょ♡

寵愛の儀は始まった…
私はたった1日で
千回以上、気を許した

くく、ダメだな
まだ隠してるだろ

2日めには
もう私は対魔忍でも…
人でもなくなっていた…

これで作戦は丸裸だな
お前の快感と
引き換えに何人の
同胞が死ぬかなあ？

ああんそんなこと
どうでもいいから
はやくご主人様の
赤ちゃん汁をお♡



ああ、黒井様が
こんなにいっぱい
素敵…嬉しい…
おちんぽ大好き…

ただ王たるものの
子種を受け快楽を貪る
穢れた獣に…





んふう♡
黒い：
しやまあ

ああ、お口も...
おまんこも...
お尻も... いっぱい

余の体液は特別だ
お前を内部から
淫魔の従者に
染め上げてやろう



そうそんなにしてくるんでひゅか...

ククク...
淫乱め...

良く飲んでおけ
明日、余のものになる前に
力尽きないように

3日めー

私の生涯で
決して忘れることの
できない1日となった



王はこの姿勢から、一度も逞しさを失わず私の2つの穴を交互に犯し続けた。

偉大なる王に抱かれ
絶頂と失禁を繰り返す
肉人形としての自分……

体内にとす黒い白濁の種が撒かれる度にこの強者に選ばれたことを悦び涙した

だが私は花の静流……

なすがままに快樂を賜る
ような女ではない……

花遁：悦肉絡み：

花遁…悦肉絡み…

敵に囚われ
慰み者になった
花遁使いの起死回生の
無印式房中忍術

もちろん今、
死に近い快楽を得るのは
自らの媚毒に
侵されている私だ…

催淫効果のある
愛液を大量に
分泌させ
蜜壁で扱き

飛艶散華で
快楽の虜となった
肉棒から精液もろとも
命を吸い上げる

恥辱に耐えかね
自決を選んだように
見えただのか

聡明な王も
さすがに
狼狽したが

すぐに悟った…

王者と共に
快楽を分かち
合いたい

く、黒井様…イッ…
ど、どうですか
私のオマンコ…

偉大なる王の
子を宿す
器として
だけでなく

王を悦ばせる…
王の第一の…
魔の女に…

対魔の技で
命を懸けて
魔に尽くすか…

美しいぞ静流

やはあん♡
ありがとう
ございますう



くくく静流よ
良からう

そなたを淫魔に
染め上げると同時に
余もそなたの肉を
味わい尽くそう

ただし小さき人間には
並の快樂ではないぞ

ああっ
黒井様!
黒井様あ♡



ふっ腰をふる度に
絶頂しおって

あと15時間は
繋がったままだぞ

余の女となるなら
この程度で
発狂するなよ

は、はい...

性臭が充滿する部屋で
寵愛の儀は
佳境を迎えた

膣に埋められた
肉棒は一度も
離れることなく
抽送と射精を続けた

雄の種は
一寸の暇もなく
牝の園に
流れ込む

私たちは
まるで獣のように
快楽を貪りあった

お互いの
性器と体液を
本能のまま
混ぜあわせる



ああ、黒井様
そんなされたら
私の汚いものが...

構わん...もっと
尿をまき散らせ
乱れよ静流...

ああ...なんと
光栄な...

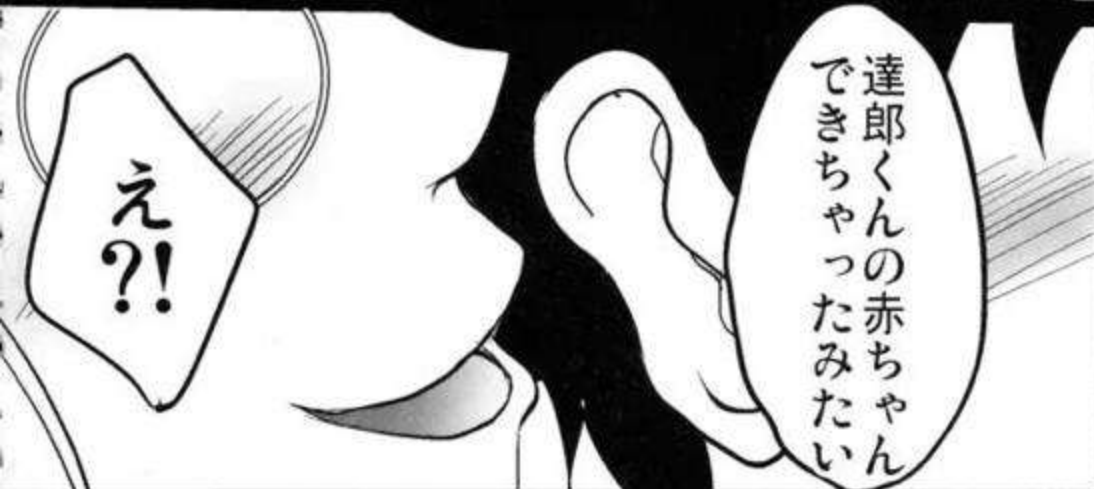
くくく
逆流して
きたな

あ...嘘...
もうおっぱいが...

魔族の妊娠は
早い...もうお前も
淫魔の女よ

あああ私が
淫魔の女...









どきどき...
...

静流さん...

アナタとのセックス...
ちよっとだけ
好きだったわよ

ちよっとだけね...

うふふ
ごめんね
達郎くん...

終わったぞ...

はっ黒井様

あ、アサギ様!



さすがに対魔の長
てこぶったわ

お疲れ様ですう♡

ね、対魔忍20人
捕まえたから
20回してくださいね！

ねえ
黒井しやまあ
早くう

くくく母乳を
滲ませて
おねだりか

れっ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

いいだろう
抱いてやる

もお黒井しやまだって
コチコチのくせにい

ん

ん

燃え盛る
対魔の里を
眺めての交悦も
また一興よ

あつあつそんな
いきなり奥まで…

ん

ん

ん



たつろっ…君
今だから言っけど
私も…あっ
アナタのこと
好きだったわよ

セフレじゃなくて
彼女にして
ほしいなあって

でも今は
黒井様専用の変態
オマンコ忍者なの…

いっぱい中出しされて
彼の赤ちゃん
なっ何回も産むから

イッイクっ黒井様！
あっあっ！



あぁぁぁ
イッイクっ
黒井様！

あぁぁぁ
イッイクっ
黒井様！

あぁぁぁ
イッイクっ
黒井様！

静流：お前のおかげで
对魔忍の里は壊滅できたぞ

すずゆ

あ♡

すずゆ

ああ、一部、苗床として
拘束しているがほぼ皆殺しだ！

そうですか…

おめでとうござります
ご主人様…

え♡♡

後悔してらるのか？

あの…
全員殺したんですか…？

すずゆ

ああ♡

いいえ…

あっ♪
ごっこ主人様…
私…

どうした？
まだイッた
ばかりだろ

あゝ

はあ

はあ

うん…

いいえ…その
う、生まれそう…
あっ…です

くくく…
そうか…

あゝ…
うん…

うん…

うん…

。。。。



我が子の出口を
塞いではいかんなあ

やつはあつ♡
来てるー動いてる！
私と黒井様の
あかちゃんがあ♡♡

すごい！
おまんこの道を
通ってるっ！

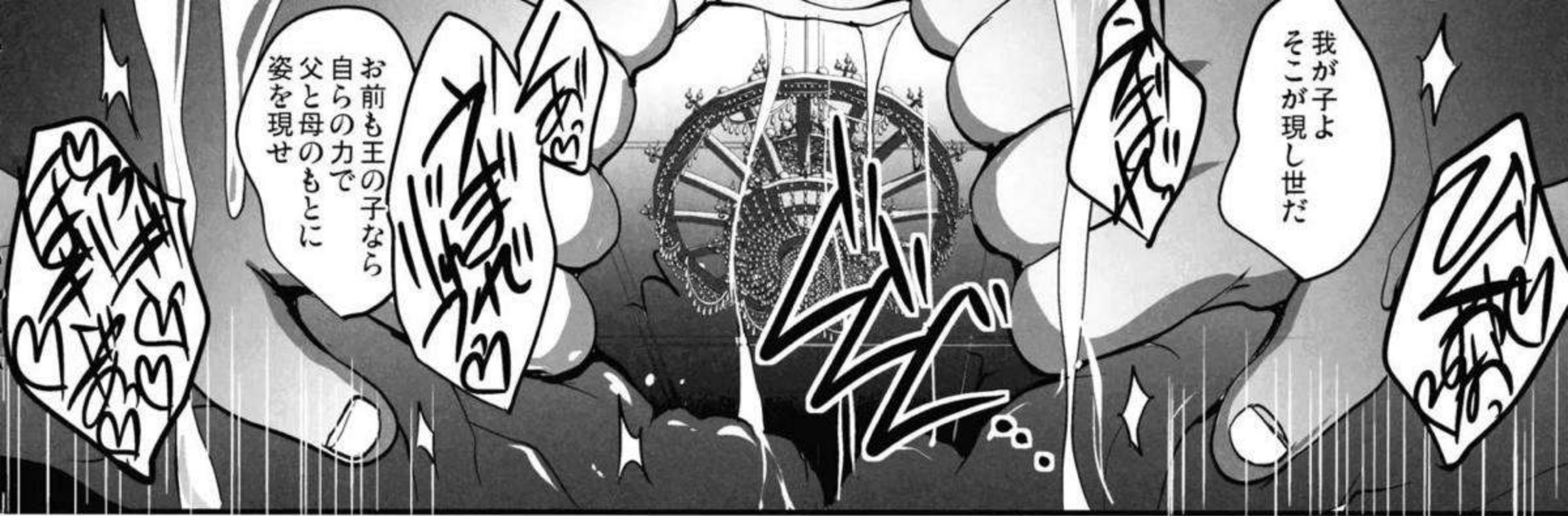
いいぞ静流
余も手伝ってやる

やつダメっそっは！
ママの感じるっ！
ああああ♡



キターでてる
あかちゃんでてるー！
入り口に！

まんこの入り口に
あかちゃん！
ひぐあああっ！





斬
鬼

孕
み
堕
ち







騒ぐな
興が冷める



男を知らずして
よくぞ淫魔と
対峙してきた

早く犯せ
そして殺せ!



ユキカゼと私の技は
全て破られた

不知火殿を
屈服させた男だ
勝ち目はなかった



こんな奴だ

純潔を

犯される...
ふうまた
捧げるはずだった



さあお待ちかねの
初セックスだ

来い…今日を私の人生で
最悪の敗北の日として
刻んでやる

犯したら殺せよ
生かしたら
必ず私がお前を
殺しに行く

ふっその
強がりも
また衰れた

いっ…熱っ
くっ…ふうっ！

ぽん



うぎっ
いっあっ
ひぎっ

だ、黙っ
れ
ああっ

ゆっくり
呼吸しろ

ふーふー
あんっ

え？あっ
あれ……

……この
あたりだな

あっああっえ？
あっああんっ♡

ふっもう破瓜の血を
愛液が押し出しておる

貴様何を
むううっ



ふっもう
余のモノに
絡みついておる

くあああ
ああつ
あんっ



ふっこれが
淫魔王の
房中術

たえ処女
だらうが
快樂のみで
支配する

し、支配
だとお
ふざけるな



淫魔の王に刃を
向けし愚拳
許しがたし

だが：今宵は
そなたの初めての
男としてそなたを
愛してやろう

え、ええ？



淫魔どもを
屠った力を
見せてみる

うる……さい……
今……あんっ
お前を殺……っ
ひあああん♡

くくっ感じて
おるようだな



どうした
斬鬼の対魔忍

余を殺すのでは
なかったのか



そして快樂に
狂い堕ちるのだ……

だ……黙れ……

誰……が……

いい声だ
もつと鳴け

お前なんか……
心を許……ああっ



そうだ
余の寵愛を
受け余を愛する
ことを許す

だ、だれが
お前なんか
ああああっ

余の種を受け入れ
余の子を孕み堕ち
るのだ秋山凜子よ

おは

おは

おは





気持ち
いいですっ
淫魔王様

もっとオマンコ
ぐちゃぐちゃに
かきまわしてください

あっああチンポ！
王のちんぽ素敵！

淫魔王様ア♡
すごいですう

堕ちたか…

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

まだだ！
快樂に溺れる

あっああっ
ちんぽ！
ちんぽいいっ

遅しくて
熱くて固いのが
私の中で暴れて…

しゅ…
しゅ…
いのお

王に屈しろ
秋山凜子

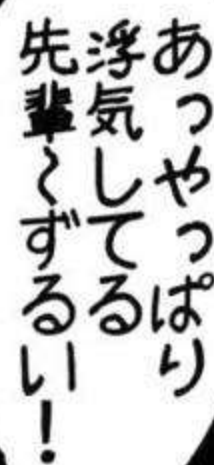
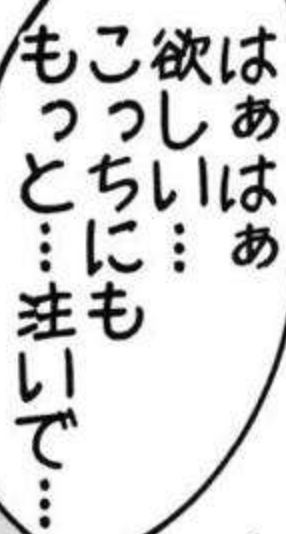
はいっ
淫魔王様！

私のマンコを
もっと気持ちよく
してください！









お

不知火どの...
ゆきか...

我らは
王の器...



孕み堕ちた
メス同士

快樂の中
蕩け合い
ましよう





はあはあ
淫魔王様……

斬鬼の対魔忍
秋山凜子……
余の種を育てる
瑞々しい肉よ

はあ、あの、早く早く私も
ユキカゼ達みたいにな
りたいです……

急くな、既に肚から
闇の胎動が聞こえる
そなたも感じるであろう

はい……







あっああっ
ひああんっ♡

くくっ望み通り
母の体になったな

うっうれしっ
たくさん淫魔王様の
赤ちやん産みます

あーっ
あーっ
あーっ

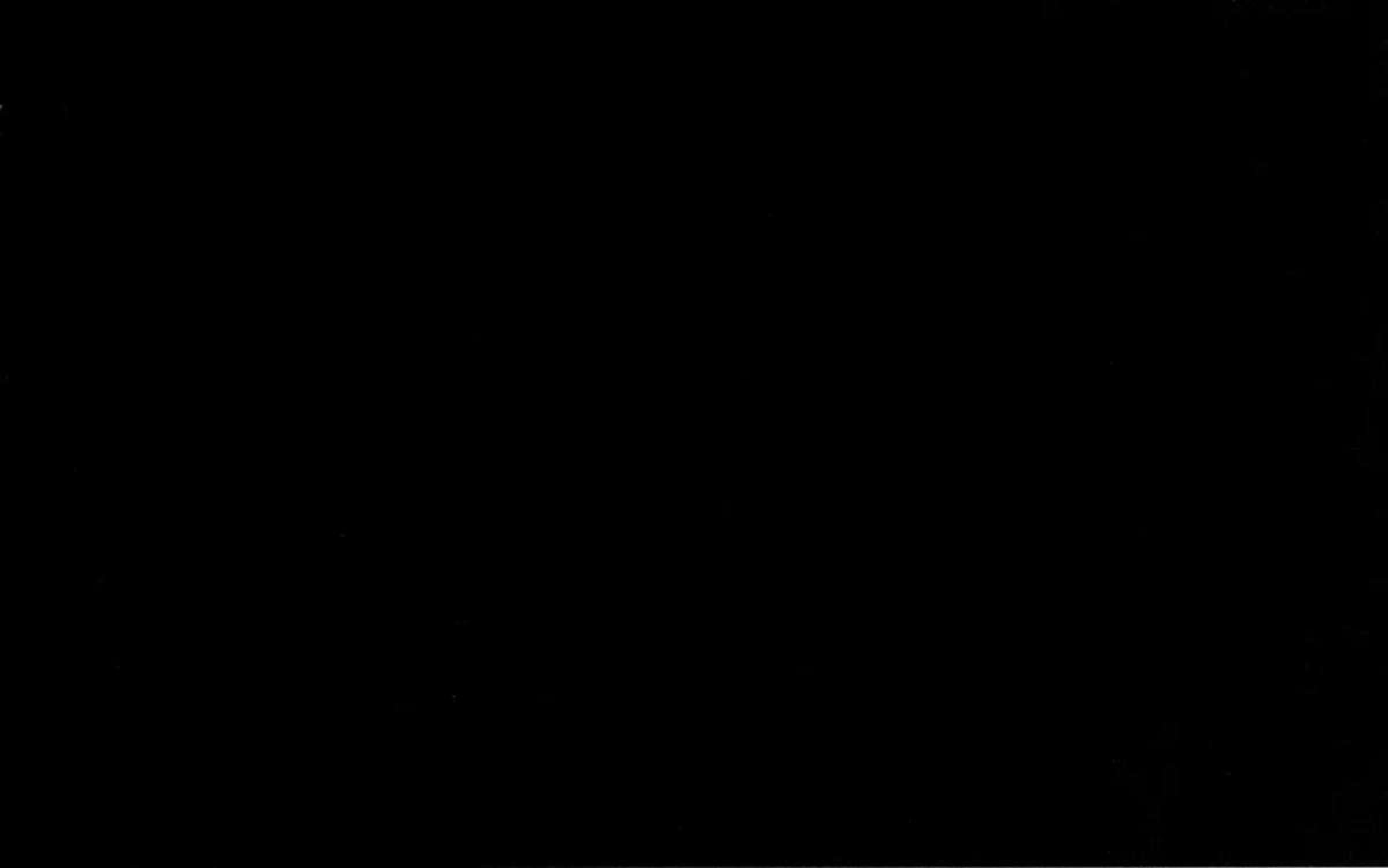
あーっ
あーっ
あーっ

淫魔王様

赤ちゃん

作りましょう





VIPの皆様
ようこそお越し
いただきました

さあ服を
お脱ぎになって



まさか
こんな光景が
見られるとはな

~~~~~





VIPの方の  
熱い精子を  
受けるだけの  
淫らな器です

淫魔王の嫡子を  
産んだ我らは  
もはやただの  
魔の肉人形

たーん♡

ふふ...



見て...  
皆様に孕み堕とされ  
母となった証を...

今宵は  
親子水入らず  
快樂の宴に  
興じましょう...

子を宿し母乳は滴り  
それでもなお強い男の  
肉棒に犯されたいと  
願っております

醜い雌豚の中に  
たっぷりザーメンを  
出してください



申し訳ありません  
対魔忍ごときが  
魔族に刃を  
向けるなど愚劣の極み  
深く恥じております

斬鬼の対魔忍に  
花の静流……お前らには  
散々苦しめられたぞ

こんな愚かで弱き我々を  
生かすだけでなく  
寵愛していただくなど  
身に余る光栄

知

知

ざり  
ざり

ざり

もはや性処理と出産しか  
価値のない肉壺を  
皆様の好きなように  
お使いください……





くうっ  
吸い付くっ！  
いいぞ不知火

わ、わかりません  
皆さん全員に  
中出しされましたから  
あっああんっ  
もっとお♡

ふふっ中で  
動いておる  
誰の子だ？

ズ  
ズ

ズ  
ズ

ズ

ズ  
ズ

ズ  
ズ



あああ♡  
すごいっもっ  
極太おちんぽを  
グリグリきで！  
きもちいい！

ん

ずん

やっあっイクっ  
出して！赤ちゃんに  
パミルクぶっかけて

お前のような  
完全無欠の聡明な女が  
孕んだ腹を揺らし  
快楽に乱れ狂う様は  
たまらん！出すぞ！

おほ

ずん

ん



闇夜に閃光の如く  
魔を切り刻む斬鬼も  
こうなつては  
娼婦以下の変態だな  
おら！どうだ！

おっおっおっいいいっ  
しゅごい！ちんぽ！  
ちんぽしゅき！

だっだっだっ  
あっあっあっ  
あっあっあっ

ひああ！おおん？！  
子ども産んだら  
また孕ませ！  
あはあああ！  
イクう！

あっあっあっ

あっあっあっ

あっあっあっ



す...か...  
ボテ腹セックス  
まじやばいかも...

ああ...感じる...  
お母さんの赤ちゃん  
私の赤ちゃんの鼓動

はあはあ...  
こんなに出して...  
まだまだ私達を  
孕ませてくれそうね

ふふ...まだまだよ  
今夜は3世代で  
たっぷりおまんこ  
しましよユキカゼ

うん!

オオオ...

オオオ...



2ヶ月前  
143 2月 2日 143







発行：焼酎MAC

著者：ほずみけんじ

印刷：栄光

発行：2025年8月17日

mail:shochumac@gmail.com

twitter:@08kenji01